

表紙の説明

建国記念日の日の出

柴田幹雄 陸自75

冬になると、我が家のベランダ真正面に日の出を迎える。ある朝、正に日の丸を思わせる日の出で、慌ててカメラを取り出した。太陽の動きは意外と早い。撮影後、数分で上空の雲の中に入ってしまった。太陽の左にあるのは東京スカイツリーで、東南東約12km、視程が良ければ肉眼でも見える。毎年撮影をしているが、お天気次第だから今回のような「日の丸」はなかなか撮れなかった。

日章旗は白地に太陽を染めた極めてシンプルな意匠である。太陽は地球上の生きとし生けるものすべてに恵みを与える存在で、多くの民族にとって信仰の対象でもある。日章旗は日本または日本人のイメージと重複するのだろうが、外国人からも世界の国旗の中で美しい旗の代表の一つと言われているようだ。

最近では各家で国旗を掲げることが少なくなってきたが、2月には建国記念の日と、天皇陛下の誕生日がある。今や旗日という言葉すら忘れ去られがちではあるが、日本そのものの存在にとって意義深い旗日が2月にはある。我が家も小さな日の丸だが旗日には玄関に掲げようと思う。